

第80回定期大会

東京清掃労働組合

新執行部確立！全組合員の総力を結集し闘おう！



東京清掃労働組合
 千代田区飯田橋3-9-3
 TEL (3237) 9995
 1部20円

編集責任 長 司
 教宣部 幸
 斉藤

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第80回定期大会特集号

満場一致で闘う方針確立

10月16日(日)、9時30分より、東京清掃労働組合第80回定期大会が、ベルサール飯田橋にて開催されました。本大会は、第80回という節目であると同時に、この間、3期6年にわたり、組織の先頭に立ってご尽力いただいた西川委員長が退任され、新たな執行部体制が確立された大会となりました。公務員制度改革に関わる事項や定年延長、また、例年より厳しい日程の中で闘うこととなる2011賃金確定闘争、各区・一組における予算・人員闘争など、課題は目の前に山積しているなか、満場一致で闘う方針が確認され、吉田新委員長の力強い団結ガンバロウによって、2012年度の運動がスタートしました。

団結して難局を乗り切ろう

大会は、皆さんのご協力をお祈りするため、ご来賓により、定刻どおり、山崎も含めた全参加者のご協力により、組織部長の司会で開始することができました。大会議長に、品川支部増田代議員、文京支部松澤代議員を選出し、「組織の力量が問われる大事な時期であり、闘う意思統一をする大事な大会だからこそ活発な議論をお願いする」この挨拶を受け、大会が始まりました。

冒頭、西川中央執行委員長より、東日本大震災におけるすべての犠牲者に対する哀悼の意が表され、ご冥福を祈りました。

その後、お忙しい中お越しくださいましたご来賓の皆様からご挨拶をいただきました。

自治労東京都本部池谷委員長からは、国会情勢をはじめ、ご自身も退任されることから、共に闘った西川委員長に対する敬意が述べられ、同時にバトンを引き継ぐ新体制は、それを力強く前に進めて欲しいとの激励をいただきました。

続いて、都市清掃今井副議長、自治労現評清掃部会山下部会長からは、容り方や家電リサイクル法など、我々の現場に直結する法改正に関する取り組みや、大阪府と市における選挙は、労働条件のみならず住民のためにも絶対に負けられない

い闘いであることが訴えられました。

特区連からは佐藤書記長にお越しいただき、今次確定闘争を取り巻く情勢と併せ、再任用制度が機能している特別区における定年延長、公務員制度改革以降の統一交渉のあり方などの課題について、共に闘う同志として団結し、難局を乗り切ろうとの力強いご挨拶をいただきました。

全労協岡事務局長からは、国鉄闘争が長年にわたる東京清掃の支援と連帯によって勝利的解決に至ることができたとのお礼、また、現在闘っているJALの不当解雇の問題や福島原発に関する取り組みなどが報告され、国全体で震災からの復興をしていくにあたり、公務員バッシングによる労働者の分断は許さないとの強い決意が表明されました。

最後に、わが組合の退職者を代表して、鈴木副会



議長団の増田代議員、松澤代議員

長よりご挨拶をいただきました。都の時代と違い、交渉ステージの多くが各区に移るなかで、現場での悩みは多いだろうが、委員長を先頭に力強く闘わなければ、働く者の幸せは掴めない、との激励がとばされたとくこととしました。

経過全般について拍手で確認

次に資格審査委員会の江森委員長による大会成立宣言、多田大会運営委員長よる大会議事日程が報告され、染書記長による2011年度一般経過報告に入りました。

冒頭、例年、皆さんに重く分厚い議案集をお持ち帰りいただいたこと踏まえ、今大会の議案集は資

料的な性格のもの印刷せず、全てCD-ROMに収録し、たことで軽量化を図ったことが説明されました。よって、議案集は薄くなったところですが、昨年の確定闘争を中心に、東日本大震災関連、研修における講師の差別発言問題、さらに委託・車付雇上と清掃工場における不適物搬入問題などの事業関係、また、公務員制度改革と地方公務員の労使関係制度に係る考え方をはじめとした勤務条件関係な

●大会挨拶 節目の大会が最後の大会になります

東日本大震災で公務公共サービスとしての 清掃事業がいかに大切か

中央執行委員長 西川卓吾

おはようございます。第80回 定期大会にご参集いただきまし
た、すべての代議員、中央委員、
また傍聴者の皆さん、休みにも
関わらずたいへんご苦勞様で
す。さらに、たいへんお忙しい
なか、日曜にも関わらず、多く
のご来賓の方々にも参加いた
だきました。本部中央執行委員
会を代表してお礼を申し上げたい
と思います。たいへんありがと
うございます。

被災を受けた町村の職員を
はじめ、犠牲者でありながら、自
ら避難所へ戻れば、一自治体
の職員として不眠不休の活動を
申し上げるとともに、この間、
実際に現地へ行かれた方をはじめ
め、被災者支援に全力で奮闘さ
れてきている各支部の組合員
に、心より敬意を表します。ま
た、炎天下のなか、あるいは真
冬の寒風吹きすさぶなかにおい
ても、日々の作業に全力でまい
進していただいていることで、
移管以降11年間、清掃事業が何
ら混乱もせずに運営され、住民



たところでありました。この闘い
においても、特区連、23区職
労から多大な反対署名を寄せて
いただきました。このお力添えが、
設備管理職員の32年ぶりの採用
に繋がったと思っています。こ
のように、単組清掃労組として
の組織の運動体をさらに強め
る、ひとつの区に攻撃がかけら
れれば、残り22区からその区を
支える、こうした運動を今後も
力強く進めていかなければなり
ません。また、確定闘争につ
いても、東京清掃労働組合と特
区連との力を結集しながら、区
長会に対し、17項目の統一交渉
会にむけて、引き続き、力を合
わせて邁進してまいります。

生活環境を保障する、文字通り
公共サービスであり、安易な合
理化や業務委託は、安全で安定
的な清掃事業そのものを危うく
するものであります。こうした
ことを労働組合として、住民や
市民運動の方たち、さらには民
主党政権に強く発信をしていか
なければなりません。働くもの
が中心の、格差のない、誰もが
安心して生活できる社会、そし
て、何よりも平和な国、子ども、
若者たちが希望の持てる社会を
目指していくことを基本に東京
清掃労働組合として主張をして
いきたいと思っています。

ど、多岐にわたる経過につ
いて丁寧な報告がされました。
ここで昼食休憩にはい
り、質疑応答については、
午後から行うこととしまし
た。

議員からは、青年部執行委
員としての立場で、新規採
用を勝ち取るために青年部
としても当局に声をぶつけ
ていくとの力強い決意が示
されました。また、同じく
交渉の経過とともに、中央
委員会に方向性と資料を示
したことについては本部を
一定評価するとの意見が述
べられました。これらを受
け、染書記長、西川委員長
による答弁を踏まえ、一般
経過に対する質疑は、杉
並工場支部岸野代議員、江
戸川工場支部中里代議員か
ら放射線物質や水銀混入等
に関する課題や一組のアウ
トソーシングの問題につ
いて、北支部の花島代議員か
らは、車付雇上の問題や組
織財政方針に関する課題を
中心に4点、砧支部橋本代
議員からは自らの車付雇上

青年部運動の活性化を

議事に入り、第1号議案
「2012年度運動方針
(案)」が額副委員長よ
り提案されました。とりわ
け自治体労働者を巡る状況
については、公務員制度改
革関連法案と給与削減特例
法案のパッケージがどう動
いていくのか、また地方公
務員についても国と整合性
を持った改革がされること
への対応、さらに地公法57
条問題などが山積してお
り、我々も理論武装のうえ
に制度の構築を図らなければ
ならないこと、さらには区
長会と協賛する人事給与制
度、任用制度に関する課題
と併せ、各区における予算
人員闘争の闘いに関する事
項を中心とした、多角的な
方針提案となりました。

決議等が全体で採択

次に、「単一労働組合と
して、さらなる組織強化を
目指す決議(案)」、「すべ
ての差別をなくす決議
(案)」、「安全・安心な清
掃事業を確立するため事業
関係の統一交渉を確固たる
ものにする決議(案)」、
「2011賃金確定闘争を
全組合員の総力で闘う決議
大会が終了しました。



第80回定期大会

●一般経過報告に対する質疑

●杉並工場支部 岸野代議員

今回の水銀問題で被曝が明らかに



今年で杉並工場が閉鎖。今までお世話になったことに対してお礼を申し上げる。世田谷工場のダイオキシン曝露問題や各工場で起きている水銀の問題で、労働条件が一定崩されてきていることを痛感している。顕著なのは、今回の水銀の

●江戸川工場支部 中里代議員

実態を当局に訴え委託の流れを止めて



放射能の問題について取り組んだが、福島の問題が収束しない限り防ぐことは

に分別区分が浸透してないため、清掃工場に搬入される確率が高まっている。大きな問題であるところから、本部にプロジェクトチームや委員会を設置するなど、東京清掃全体として対応を考えて欲しい。

工場アウトソーシングの関いは、毎年皆さんの協力をいただいているが、完全には返すことができない。昨年、判断した理由は、平成24年、25年は運転業務の委託は行わないと当局が言ったこと、今後の工場運営について労使の意見交換の場の設置を勝ち取ったからだ。今年度に

●北支部

組織財政方針の議論がされているのか



でいるが、具体的にどのように使われているのかをお聞きしたい。以前は、振込み先について詳細に示されていたと思う。

夏季統一カンパをはじめ、各種カンパを取り組まれていないが、議論自体さ

●花島代議員

組織財政方針の議論がされているのか

でいるが、具体的にどのように使われているのかをお聞きしたい。以前は、振込み先について詳細に示されていたと思う。

組織財政方針について、一昨年の組織集会でも討議

今大会では、多くの代議員・中央委員から多岐にわたる質問・意見が出された。その中から主なものをピックアップし、主旨をまとめた。

れているのか、いないのか。地連、支部、それぞれの役割に応じて予算をつけてという方針であったはず。暫定予算が出されているなかで、議論がされていないのではないのか。

●本部答弁

工場の委託問題はキッチンと情報収集して



賃金確定闘争に関わる課題だが、都労連がマイスター制度を勝ち取った。級格付け制度の廃止など、現業給料全体が見直されていくなかで、東京清掃としても取り組む課題ではないか。区長会との交渉にむけて今後の対応等、具体的なものがあればお聞かせいただきたい。

●本部答弁

工場の委託問題はキッチンと情報収集して

放射能やダイオキシンの問題については、先日、一正搬入が自分たちの問題だと理解していないことが原因だ。この間、23区全体の対応等についてマスコミから取材が入っている。今訴えてきたことから、一定認識をしている区もあるが、そこから先に進まない。

各区分項であることから、それをまとめることはハードルが高いとしている。しかし、そのことを追求できるのが、行政のチェック機能としての役割をもつ単組東京清掃だ。この課題は、清掃事業の区移管がどうだったのか、区民の生活環境がどう変わったのかという自治の問題である。プロジェクトチームをどの意見も

水銀問題は、自治研活動の課題として対応していきたい



いただいたが、自治研活動の課題として対応をしてい



吉田新委員長の力強い団結ガンバロウ

きたい。自治研センターと廃棄物研究会を立ち上げ、清掃工場の視察にも行って

さらに全支部との議論のなかで方向性を見出し、進めたい。

組織財政方針についての意見だが、なかなか議論が進まないということについて

は、率直に謝らなければならぬ。今後、公務員制度改革を含めて本部の体制がどうあるべきなのか、また、交付金の取り扱いについては、一般会計と切り離して処理をしなければならぬということの整理がなかなかでききていないことなどから、なかなか議論が前に進まないのが現状。明日以降、新年度が始まることから、重点項目として対応したい。公務員制度改革は、かつての区移管闘争に匹敵

するくらいの課題だと思っている。したがって、どういった体制で臨むのか、財政的な裏づけを含めて早急に検討し、皆さんに提起したい。

都労連のマイスター制度、我々にとっても重要課題であると認識している。これから勧告が出て、確定闘争に入っていくなかで重要課題として当局も認識しているが、具体的な対応については今期確定闘争以降、定年延長を踏まえた抜本的な制度見直しのなかでの対応となる。その道筋を付ける今期確定闘争にしなければならぬと思っている。

車付雇上への問題、法的にどう問題があるのか議論が始まったばかりだが、専門家の意見も伺いながらまとめた文書も中央委員会に出したので、各支部段階で精一杯取り組んでいただきたいことと併せ、区担当中央執行委員を中心に闘っていただきたい。もちろん、委員長、書記長が来てくれということであればいつでも行くが、区や一組担当中執も含めて本部であることを認識していただきたい。そのうえで問題点があればあげていただき、中央執行委員会で議論をし、支部との連携、地連との連携を図っていく。

車付雇上の問題は、わが組合のみならず公共清掃や23区当局も含め議論が必要

●本部答弁 山崎組織部長

皆さんへ早い情報を今後も心がけていく

●北支部再質問 花島代議員

車付雇上がこれだけ進んでいる中で

役が入っていく必要がある。が、様々な問題を孕んだ課題だということを入れたら、必要がある。

●本部再々質問 花島代議員

交渉に入ることも含めて組織として対応を

がら今後運動を進めていく必要がある。

●本部再々答弁 染書記長

具体的な闘いをどう本部としてやっていくのか、という意見だと認識した。具

●本部再答弁 染書記長

車付雇上問題点について当局に対し指摘する

●支部質問 橋本代議員

車付雇上の労働条件は我々自身の問題だ

●本部答弁 西川委員長

交付金制度を含め十分な総括が出来ていない

車付雇上への取り組みは、精神的に進めていかなければならない。非正規労働者の活用が拡大の一途であり、清掃の現場が劣化するという大きな問題。正規職員の人員確保ということではなくて、東京23区清掃事業がどうなるのかという危機に瀕している。車付雇上は、雇上業界とも関係

車付雇上に対しての方針が、中央委員会に示された。この間、多くの区で導入がされたが、本部の見解が出されたのはおそろしく初めてだと記憶している。積極的

本部のあるべき姿、体制、地連との関わり、そういう意味での交付金制度含め、残念ながら十分な総括ができていない。現在進められているところである。1区



東日本大震災犠牲者へ黙祷